



1

1. 目認 2. 死 3. 本體 4. 聲華 5. 他人 6. 聽 7. 真 8. 他 9. 真

官張
黃氏住
印所

[illegible]

戰死證明書

一、戦死者本籍地

戸主名 戦死者 戸主

氏名

年 月 日生

二、所属 國有軍隊 兵隊名

七島派遣隊 第... 部隊

三、戦死者徵集年 昭和... 年 役種 現役 兵種 歩兵 死亡前官等 陸軍 少佐 昭和... 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和... 年 月 日 午前... 時 分 八ヶ岳 陣地

五、戦死現認ノ程度 埋葬ノ人 遺体 発見

六、遺骨歸還ノ有無

七、戦死當時ノ状況ノ概要 敵機 襲撃 被害 甚大 戦死者 多数 あり

八、死亡區分 戦死 事由 敵機 襲撃 発生 年月日 昭和... 年 月 日

九、其ノ他 戦死者 遺体 発見 場所 八ヶ岳 陣地 昭和... 年 月 日 発見 場所 八ヶ岳 陣地

十、遺族ノ現在所

戦死者ノ遺族 父

氏名

右ノ通り戦死セラルタルコトヲ證明候也

昭和... 年 月 日

證明者住所

戦死者ノ関係

所屬部隊名

兵種 歩兵 官等 陸軍 少佐

氏名

市町村長證明箇所

昭和... 年 月 日

天
地
人
三才

陸軍衛生兵 氏名

辛巳年五月五日

上海五洲大藥房發行



五、米機動船隊5隻、予之破行追撃に

必要の護衛員を機材運搬の輸送隊に

昔同年四月于市
衛生堂書

南村先生遺墨
十一品

Figure 1

現談卷

元所屬部隊六名

現認證明書

南方 派遣

第10軍 部隊

陸軍少佐 佐藤 龍雄

昭和二十年四月五日 陸軍少佐 佐藤 龍雄

敵戦車ニ依リ戦死(戦病死)セル事ヲ現認ス

昭和二十年四月一日

現認者元 第

陸軍少佐 佐藤 龍雄 階級 陸軍 中將

現住所

氏名

[Redacted address information]

4-11

身	勝	者

附子

昭和二十一年四月三日午時分
 新島中尉と前隊
 死亡者との関係
 死亡者との関係
 死亡者との関係

職官等級氏名

名

本

籍

地

注

元

所

現住地 右今

所屬部隊 固有部隊 新島中尉と前隊
 通稱 砲兵七大隊

官等級氏名(死亡前) 陸軍一等兵

右の者昭和二十一年四月三日午時分

北前山に於て戦死(病傷名)したことを証明する

昭和二十一年四月三日

所屬部隊 新島中尉と前隊

現住地

死亡者との関係

(舊)職官等級氏名 陸軍一等兵

三

律風記

[REDACTED]

氏名

年 月 日生

家山圖

派遣

報

部 族

■

二、戰死者徵集年 月 日 役種 兵種 兵死亡前官等級 軍上 任官 職級 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十二年四月二十二日 北之島 子人附 中ノ島 所 北之島 所

五、戰死現認の程度推定

不遺骨歸還人有無也

七、戰死當時，狀況概要

[illegible]

[Faint handwritten notes at the bottom of the page, possibly "Page 10"]

事由 急病死亡 發病年月日 昭和 二十 年 四 月 十九 日

也、眞也。上陸捕_ニ於_テ死亡者覺番_ニ依_リ申立_カ、都隊陣野堅提班_{（五）}、東放將_{（六）}ガンバ上堂系月日爰上越傳

1871

10- 盧其 聖年

1971年12月1日

氏名

右ノ通り戰死セラルコトヲ證明候也

昭和二十二年二月十四日

證明者住所

戰死者上關係 岡村商其 鐵道部

所屬部 縣名 同前

天龍

官等級坐車

出知

市町村長 明 萬 承

15

右現認す

昭和 年 月 日

現住所

所屬部隊

官銜姓氏名
船工要
要長

上陸地名
名古
厚
港

上陸地支那に於て廻轉濟や否や

上陸月
羽解字
平正月大將

一、所謂警院は通票固有の除隊名をも判明根拠に記入のこと
二、死亡欄は出奔得る限り詳細に按じ本由、傷、病名、登州（受傷）入院年月日、入院病院名及其の他参考資料等併せ記入のこと、記事多き場合は附録紙付記入のこと
三、遺失（遺留品）欄は有無有る場合は何處にありや（現地、上陸地支那、留守宅等）記入のこと
四、遺失を忘れぬこと
五、同一人に對し二部調製のこと

[illegible]

歴		履	
昭 18 18 3	昭 18 18 3	昭 18 10 7	年 月 日
	大 坂	入 籍、 職名 (入籍地)	記 事
港上陸	港出發	自 昭 昭和	年 月 日
		勤務の概況	記 事
	昭十八 十九 二十 二十一 二十二	昭十八 十九 二十 二十一 二十二	年 月 日
	一等 二等 三等	(入隊以後の進級階級)	記 事

戦死者確認(證明)書

一、死歿者所屬部隊名(通稱號) 陸軍第一〇五師団

一、徵集年 昭和十九年 役種 第一補充隊 兵 曹

一、官等(死歿前) 上等兵 (死歿後)

一、氏名 [Redacted]

一、死歿場所 [Redacted]

一、死亡區分並ニ事由 [Redacted]

一、死歿年月日時 昭和二十年四月十三日

一、死歿後本籍地留守擔當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十年八月廿二日 元所屬部隊名 陸軍第一〇五師団

現住所 [Redacted]

元官等 兵曹

氏名 印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ハ死亡ハ加細ニ生死不明ニナシタ者ハソノ前後ヲクワシク告知ラセ下サイ

宛 先 [Redacted]

地方世話部慰恤係



昭和二十一年 月 日 第 號

地方世話部 死亡者 認定調査票

昭和二十一年 月 日
留 守 業 務 課

所屬部隊名		固有姓名		十四軍七四兵病		通稱名		威四八〇一	
本籍地		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
年集徴		昭 7		種 役		補		種 兵	
死亡年月日時		昭 20. 4. 23.		級等官		前亡死		上	
死亡區分		戦 病 死		後亡死		氏 名		[Redacted]	
現 住 所		同 本 籍 地		死亡場所		ルン島ハヤス第1陸病		年 月 日 生	
遺 骨 状 況		現 地 埋 葬		傷病名		マラリヤ 兼 脚氣 (癩病)		[Redacted]	
右 現 認 手		[Redacted]		氏 名		[Redacted]		[Redacted]	
調査認定		一遺骨状況 現地埋葬 無		名簿所見		不 載 記		[Redacted]	
料 資 及 料 資		[Redacted]		ス 七 管 保		ス 消 抹		ス 消 抹	
手 入 経 路		南方第12陸軍病院		停年名簿頁		[Redacted]		[Redacted]	
衛 生 費		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
判 決		[Redacted]		印 檢 点		認 定 進 級		告 知 記 録	

是也

死亡者調查表

昭和二十二年

月
十四
日調製

苦型初

1997

100

1998

100

2000

15

上の注意並に原簿棚は裏面にあり（記帳上の注意をよく讀取ってから記入の事）
 事項中判明しあるものは各班にて朱罫すること

—

23

77/

裏面記載例をよく見スベシハ墨で書いて下さい

死亡證明書

區

分記

事
確度

死

○本籍地

[Redacted]

○所屬部隊 第百三十八飛行場大隊(前第二四五部隊)

○官職(死前) 任長

○氏名

[Redacted]

○死年月日時 昭和三年四月二十四日

○死亡区分 戦死(爆死)

○死亡場所 比島ルソン島ハギオ

○死亡状況

敵飛行機の爆撃に依り爆死す
現認し

○病名

[Redacted]

着

6-13

死亡當時

部隊状況

遺骨遺物の状況

死亡者の関係

警備隊（同）

右之通相違無之候也

昭和五年十月三十日

上陸地年月日

本籍地
現住所
所屬部隊
官氏名印

印

印は詳しく書いて下さい
○のなは所は記憶して居ることを書いて下さい

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所

所屬部隊 歩兵第三一聯隊

徵集年 昭 17

官等級

上等兵

右ノ者昭和ニヤ年 四月ニ四日 四時

三十分ハ於テ追撃戦中依リ戦傷
病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和ニニ年 三月 三日

所屬部隊

職名 砲手

官等級

上等兵

氏名

注 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス

二、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

60-17

No. 96

決 判		路經手入ノ料資及料資		査調定認		守者常務		人		本	
戦死		調査 新編部元 元城五三一四部隊陸軍衛生伍長		分隊長 無長より 私信により		組 現 往 所 本籍地 三月		死亡年月日時		年集徴	
								昭 20 年 4 月 24 日		種 役	
級 等 官 階		兵長進級		氏 名		死亡場所		死亡原因		所 屬 部 隊 名	
印 檢 点		認定進級告知記録		停年名簿頁		名 簿 所 見		後亡死		固有 名 姓 氏 名	
						腹 部 貫 通 銃 創		兵 長		昭 20 年 4 月 24 日	
								氏 名		威 力 五 三 一 四 部 隊	

地方世話部 死亡者 認定査票

昭和二十一年 月 日 第 号

昭和二十一年 月 日 田調製

102-11

事實(現認)證明書

本籍地
現住地 同 石

所屬部隊 國有部隊名胆支団主計隊中隊
通稱 威一三四一五部隊

官等級氏名(死亡前) 陸軍上等兵

年 月 日生

右の者昭和三十年四月二十五日午時 分ルソノ島

に於て戦死(戦傷名)したことを証明する

昭和 年 月 日

所屬部隊 威一三四一五部隊中隊
現住地
死亡者との關係 戦友

(舊)職官等級氏名 陸軍上等兵

当時の状況ハ直前へ
現認品別紙参照

新隊名

陸軍省射砲第七十七大隊

隊

編名

第一二四五部隊

旭華團七十一聯隊第六中隊

陸軍省

昭和三年四月二十四日、ルン島バキオ地をベンゲツト街道

連撃砲隊として決戦（以下隊番号加）

右現報

第一二四五部隊第六中隊

陸軍省

現任所

下機地

11-2

昭和十九年三月十二日 為吉唐君

(舞鶴重砲隊)

同年六月一期 為吉終平、中尉セシ 砲隊へ所属

七月 砲隊高射砲ヲセシテ入隊編成

八月 門司出役 (砲隊) 比叻マニラ土佐 (沙斗参)

九月 第一等兵進級

十月 砲隊セシエルサント 転出

二十一年 月バヤオ進出、対空戦ヲ参

三月 月バヤオ進出

同日 歩兵転出、同年四月十一日 砲隊

四月 砲隊 (砲隊)

四月二十四日 - 二十七日 追撃砲撃、砲片ヲ参

地名ルソン島ベデント 街迄、キヤンフスリ 於

1113

現總行

戰死者 [REDACTED] 兵長
戰死傷者 [REDACTED] 一軍不與十軍
昭和二十五年四月廿四日戰死又
右、再、戰死確認證明人
昭和二十五年三月二十日

[REDACTED]

(中野昭四郎) 昭和三十四年

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 戸主

弟

氏名

年 月 日生

二、所属

所属部隊名 所属部隊番号 所属部隊名 所属部隊番号

三、戦死者徴集年月

年 月 日 兵種 兵死前官等 戦死年月日 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時及場所

昭和 年 月 日 場所

五、戦死現認ノ程度

現認 (戦死場所)

六、遺骨歸還ノ有無

不詳

七、戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要 戦死當時ノ状況ノ概要

八、死亡区分

戦死 事由 戦死年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他

戦死当時ノ状況ノ概要 戦死当時ノ状況ノ概要

十、遺族ノ現住所

戦死者ノ戸主

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戦死者ノ関係

所属部隊名

所属部隊番号 所属部隊名 所属部隊番号

兵種 兵死前官等 戦死年月日

氏名

市町村長證明箇所

昭和 年 月 日

印

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戸主名 戸主

氏名

年 月 日生

二、所屬 國軍部隊名 歩兵第六旅団 又 歩兵派遣隊 第三〇四部隊

三、戰死者徵集年 四十七年 役種 兵種 兵死亡前官等 陸軍上等兵 昭和十九年五月十日

四、戰死年月日時及場所 昭和十九年五月十日 比叻多宋島(ベトナム)

五、戰死現認ノ程度 他長現認ノ報知

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死當時ノ状況ノ概要

地多作リ、至爲修長ヤ、戦死

八、死亡區分 他

事由 花柳病ノ發病年月日 昭和二十年四月五日

九、其ノ他 上陸ニ於テ死亡者ニ依リ申立テ、部隊ニ登録(中込)シ、上陸年月日及上陸地

十、遺族ノ現住所

戦死者トノ親柄父

氏名

右ノ通り戦死セブレタルコトヲ證明候也

昭和二十年 五月 一日

證明者住所

戦死者トノ關係 同サカ

所屬部隊名 歩兵第六旅団

兵種 歩兵 官等 陸軍上等兵

氏名

印

証明者住所

11-23-11

281

現認證明書

本籍地

所屬部隊 陸軍第... 隊員番号...

一 死亡年月日時 昭和... 年... 月... 日... 時... 分

一 死亡場所 北河原中新井...

一 死亡原因 戦病死

一 傷名 思性マ...

一 死亡當時状況 昭和... 年... 月... 日... 時... 分 中...

現認者 元... 階級...

右現認ス

昭和三十三年... 月... 日

現認者

元... 階級...

現認證明書

本籍地

所有部族 國有部族 第三部族
(通稱部族) 第三部族

徵集年

官等級氏名

陸軍

上等兵

(通級年月日)

年 月 日

死亡年月日

昭和二十年四月三日

死亡場所

ルノ島多シム

死亡原因

(傷病) 病死

死亡状況

カニ

右正に現認し證明す。

昭和二十年三月十三日
現認者 新居部族 (通稱部族) 第三部族

現任所

旧職官等級氏名 (印)

昭和二十年三月

